

6月9日 年中ひまわり懇談会 議事要旨（参加人数25名）

・お水がなくなったら水筒に補充してくれるとのことですが、なくなったなくなっていないというのは本人の自己申告なのか？

→「ない子は言ってね」って声かけをするとともに、自己申告できない子に対しては熱中症が心配なので、こどもの様子を担任以外の複数の目でみながら、注意しています。

・こどもたちは蛇口から直接飲むことはしていないような指導はしているのか

→手洗いの時に飲んでしまうことはあるかもしれないが、水筒の水を飲むようにと言っている。

・夏の延長保育は、今はどのような形で検討しているのか

→夏の延長保育は今のところやれるかなと考えている。

・日数とか時間は例年通りですか。

→8月までの予定を近々出そうと思っています。

・マスクは鼻だけだすとかありますか（苦しくないかなあ）

→外している子もいるし、ずれている子もいる。暑い子ははずしている子もいる。（ライブ映像より実際に見てもらっている）

どうしても暑い時には鼻だけだしたり外したりしている。感染を防ぐ上ではつけていた方がいいけど、熱中症を防ぐ上ではつけたくないというところでそのバランスに日々悩んでいます。

・プールは今年はやらないのですか？

→いろいろやりたい思いはあって、園医にも相談して考えてきたのですが、県からの通達でもプールの中で2m離れるようにとのことですが、2m離れると3人くらいしかはいれなくなってしまうので。水の中は塩素が入っているので大丈夫だろう。ひまわりの場合、水の外に出ている場合が多く、感染のリスクが高いだろうと考え、今年度は泣く泣くプールをすることをやめました。プールをしないから水あそびを一切しないというそうではなくて、みずかけっことか、いろんな形で水あそびをしていこうと思っています。ただ、ため水で遊ばないということです。

・進級式で手拭きタオルがタオル掛けでお隣同士ととっても近くて、それは大丈夫なんですか？

→悩ましいところで、お隣のタオルとくっつかないようにするには一つあけなくてはいけないので、場所あまり遠いところには持っていけないようにしたいし、職員でも考えているのですが、うまい策が考え出せていません。ハンカチを持たせるという案もありますが思案中です。

・トイレで手をきれいに洗わないことが増えてきたので、幼稚園だと自分の子がウィルスを持っていたりすると他の子にうつさないか心配。トイレの手洗いまで先生は見切れないのでは。

→手洗いは伝えてきたけど、幼稚園でも慣れてきた証拠で、石鹸で手を洗うんだよということはどうさくならないように伝えていかなければならないと考えています。

・手洗いうがいを言いすぎてしまった。神経質すぎて。

→（ZOOM映像により新しく増設した手洗い場の紹介をしました。）

園でも手洗いをしなければならぬと思っていますが、うるさくならないように、聞いてもらえるようにすることが大事だと考えている。

・こどもの様子は、長い休みのせいで、なんで幼稚園に行くのかという感じになっている。

・園でのお母さんのサークル活動は、今年度はどんな感じなのか気になっている。

→保育の事を考えるだけで手いっぱいだった。子どものことを考えるとやっていただけるといいと思うが、今は毎日の保育の振り返りで手いっぱいでお母さんたちのところまでいきついていないのが現状。保育が落ち着けばお母さんの事も考えられるのかなと思います。本当なら絵本のお母さんには、半日になった時に、1日保育になったらお手伝い願いたいとお話しをするところですが、まだそこまで話ができていなくて。今年の年長さんのことを思うと絵本を貸し出してあげたいと思うのですが、担当のお母さんとも話をしていかなければならないだろうと、やれる状況になればやっていただければいいのかなと。そこには感染の状況がどうなるのかがついてきますので、落ち着いていればやっていただければいいのですが、もう少し職員で話をするのにお時間をいただきたい。

・夏の塩分の補給はどういう風になっていくのかな。家庭で用意していくのか、水分補給はどうか。

→熱中症予防で水分だけではなく塩分も必要なので、今までは手がきれいだとして口を開けて職員の手でばらばらとして塩をあげていたのですが、それは今はできないだろうということで、小さいスプーンで口に運んで、それで水を飲んでもらうようにやっていこうかと考えています。

・今、ソーシャルディスタンスをとらなきゃいけないといわれていて、例えば中学生だと、今は友達とハグしちゃいけないんだよといえは聞けるんですけど、幼稚園だと、ハグしないでねとかするのも難しいし、ついこの前も進級式の時に、先生とハイタッチしたりしていますけど、そういう事は先生たちは子どもたちにどこまではOKしているのですか。

私たち親も子どもたちにどこまでOKという声かけをすればいいのか悩ましいです。リズムなんかも、お休みすさんなんかは、今は密で絶対だめなのかな。子ども同士が触れ合うものはどこまで幼稚園としては考えているのかお聞きしたい。

→まったく手をつなぐことをしない、触れることもしないというのは、こどもの成長にとってどうなんだろう。感染を防ぐ上では触れない方がいいと悩んでいました。今のところすべての結論は出ていないですけれど、リズムをする前に手を洗うとか、終わったら手を洗う、消毒するとかそういう方法をとってやれないだろうかと。まだ、リズムは一回もやれていない。これから子ども動きをみながら変えていくと思うんですけど、リズムを全くしないとうわけではない。だけれど、なるべく広いところでしたい。様子をみながらですけれど、外でやるが増えると思います。お部屋の中でも一クラスの人数があまり多くならないようにやるとか、そういうような工夫をして、あとで手洗いをするとか、うがいをするとかしてやっていくことになると思っています。

・親は過剰に、今は手をつないではだめだよとか言わないで様子を見ていた方がいいのでしょうか？

→そこも悩んでいるところですが、手をつないじゃだめだとかいうのが心苦しい。やっぱり、仲良くなったから一緒にいたいとか、距離をとらなきゃいけないというのはあるんですが、幼児の生活というのはだいたい1m以内には誰かがいますよね。そういう生活をしてきたところでいきなり2mで生活しなさいというのは、なかなか言いにくいというか、やりづらいというか、保育が本当に難しいです。私たちも悩みながらやっていて、今日やってどうだったかというのを、毎日振り返りしています。こどもの気持ちを考えてどうなんだろう、というのが、今ひっかかっているところです。

・うちの子がもし（ウィルス）を持っていたらと思うと、ハグとかハイタッチとかの方がよっぽど接触するので、特にひまわり幼稚園は厳しいので、そこはどうするのかなというのが気になっていた。

→これは答えがなかなか出なくて、保育をどうしていこうかという話をした時も、なんか悶々とする時

間が過ぎていって、リズムだとか歌だったり、集団あそびもタッチしていいのかな、花いちもんめもや
っていいのかな、今社会性を身に着ける時期ですよ。人と関わっているいろんな事を学んでいく時なんだ
けど、触れないのはどうなんだろう。でも感染しやすいんだよね、じゃあ、最終的には、よく手洗いす
れば守れないかなと、今そんなところに身をおいている感じなんです。

・夏休みは通常通りで大丈夫でしょうか。

→今のところは通常通りで、8月は夏季保育をやる予定でいます。7月は夏季保育を入れていません。
7月は終了日を遅らせて、園に通う日数を増やすというところで。

8月は延長保育があつてお盆休みがあつて、また延長保育があつて、夏季保育があつて、職員の研修が
あつて、9月を迎えると形でおります。近々八月の予定も出しますのでご確認ください。

・指を口にもっていくくせがあつて、そういう場面をみかけたら一声かけていただくとありがたいです。

・給食がはじまってからの事です、手づかみ食べをまだしていると思うんですが、できれば手拭きタ
オルを持たせたいと思っているのですがいかがでしょうか。

→家ではお手拭きでふくようにはしているとのことですが、ちゃんとこちらでも様子をみながらご相談
させてください。担任とも一緒に考えていけたらと思います。

・マスクをお着換えとかのように袋に入れなくてリュックにしまうことについて、抵抗があるの。

→何か袋のようなもの、きれいな袋に入れてもらえばいいのかなと思います。一緒に考えていけたら
いいのかなと思う。

6月10日 年小ひまわり懇談会 議事要旨（参加人数28名）

・マスクの置き場所とかについて、牛乳パックをケースにして置き場所にするとかいうことは考えてい
るのか。

→マスクの管理について、いろんなやることがあると、年少さんはどこまでできるかなと。今は園に来
ることに精一杯。お手拭きタオルもかけることもまだそこまでいっていない。やる中でいろんな問題が
出てくると思う。いいヒントをいただけると有難いです。

毎日、振り返りをしながら、どうかなと考えながら保育を行っている。毎年こどもの様子が違うので。

・ユニクロのマスク開発に期待している。ユニクロの子供サイズができるといい。

長期休みで、上の子どもと一緒にテレビも見るとおやつも食べるし、年が離れている子のアニメも一緒
にみていたので、ちゃんと同年代の子と遊べるといいと思う。

→今なんとかしなくてはというより、今のこどもの現状を受け止めていければいいかなと考えている。
長い目でみて、幼稚園に慣れてくれればいいと思う。

おむつがとれていない。自粛の期間が長くて、ずっとおむつだったので大丈夫かな。

→友達のことがみえるようになるとパンツはこうかなとなっていく。幼稚園では無理強いしなくて、徐々
に様子をみながら一緒にやってみよう。

・兄が小1でひらがなや数字をやっていたのをみて、お絵かきが数字や文字を書くようになってしまっ

た。お絵かきをしなくなったので、今心配している。

→今はお兄ちゃんのまねっこ（あそび）をしているので、幼稚園で過ごしはじめて楽しいことがみつかってくれば心配しなくなるのかなと思います。

・おむつがとれていない。行くまでにうんちをしなくて、うんちは100%おむつにする。うんちをしたときはどうしますか？

→幼稚園で出たときは、ちゃんと処理します。濡れたら着替える。

・泣いた場合は、親の引き際ははどうでしょう。

→あっさり帰ってもらって大丈夫です。「じゃあね、いっぱい遊んでね、迎えに来るね」って託して帰っていただいて結構です。

・うんちはおむつに履き替えてすることに定着している。おむつを持たせた方がいいですか。

→持たせなくていいです。3歳児はトイレで完璧にできないので一緒にやるので大丈夫です。

・マスクは裏表がわかっていなくて、そういうのを徹底して教えなくていいですか。

→子どもはマスクの扱いがうまくできない。その家その家でいろんなマスクがあって、何か目印があるとわかりやすいかな。お母さん方からもいろんな情報をいただけたらいい。

・明日からママがいなくて泣かずに行ってくれるか心配。おむつがとれるか心配。

→おむつで送ってくるときは、パンツに履き替えさせてくれるといい。

・マスクをすぐに外してしまう。人が周りにいないときは外す。

→3歳児は、子どもの様子をみながら臨機応変に対応していきます。

・4月からはじまっていたら9月に延長保育を入れようと思っていたけど。受け入れは可能ですか？

→申し出てくれれば大丈夫です。年少は、6月からだと暑さに慣れない状況では子どもの体調が厳しいと。6月7月で子どもの様子で変わってくると思うので希望があったら言ってください。

・トイレが和式をしたがらないし、立ってやりたがらない。どうしても洋式で座ってしたがる。

→お友達がやっているのを見たり、男性保育者がしているのをみながら、徐々にするようになっていくのかと。時間を経していけばできるようになると思います。

・市町村の3歳5か月の検診で尿検査があるが、どうしても取らせてくれない。どうしたらいいのか。

→とれなかったらしょうがないとするのではいかがでしょう。

・和式トイレの仕方を家でどう説明すればいいでしょうか

→本当なら、全部ズボンをおろす方がたいへん。年中になるまでには、自分でひざまでおろして用が足

せるようになると思います。

・夏はプールを楽しみにしていたと思いますが、どんな水遊びをするのか

→ホースやスプリンクラーを使ったり、水や泥遊びを一緒にするようなこともあると思います。溜め水ではできないですが、いっぱい水で遊んでいこうと思います。

・絵本が好きで、ひらがなを知りたがる。本人が知りたがる。まだ覚えなくてほしいなあと親は思う。

ふさいでいいのか、かわせるほう方法があるのか。

→幼稚園が始まれば、幼稚園でほかのことに気持ちを持っていけばいいのかなと。

・自己主張がはげしくて、自粛期間にさらに強くなって、園でお友達とうまく距離をとってコミュニケーションがとってやっていけるのが心配。

→自分が自分という気持ちがあることが大事。ぶつかって相手のことを理解していく。けんかもあるし、言葉よりも手が出たり感情が出たりしないとお互いが関わりながらトラブルを経験しながら成長していくのが幼児期だと思います。

・幼稚園に行くことを楽しみにしていたんで、兄がいるのが心の支えだったので、今日はいなかったんで、どうなるのかなとおもっていたんですけど。

→今日1日はがんばっていたと思うので帰ってお母さんみると泣いちゃうかもしれないけど。

6月11日 年長ひまわり懇談会 議事要旨（参加人数18名）

・いろんな行事がなくなってしまっていることについてどのように考えているのですか？

→普通に四月はやれると思っていたものが、年度を始める頃に白紙に戻ってしまった。職員みんなはやりたいと考えています。時期的に親子徒歩遠足は5月のさわやかな時期を逃して6月に行くのは熱中症の危険が高すぎるよねということで親子徒歩遠足は中止にしました。もしかすると年少は秋に同じ場所を歩くことはあるかもしれませんが。夏のお泊り保育については、やりたい思いでいたが、2ヶ月弱の保育の中でお泊りに持っていくのはどもの状況を考えると厳しいんじゃないかということで、それで夏のお泊り保育はやらないということを決めました。でも、秋にやれたらいいなあということで希望を残しています。ただ今後の感染の状況ですとか、周囲の状況によってはなんともいえないところです。希望は残しているんです。運動会もやりたい。じゃあどうやったらやれるかな。今までの運動会を思い出してもらおうと、あれは密といえるのかな。こどもだけの運動会開催という話も聞きますが、幼稚園の子にとって、お父さんやお母さんがいない運動会はどうなんだろうね。日程についても、いろんな学校の運動会もかぶってしまっていて、なるべく多くの人に来てもらいたいけど、感染も防がなければならなし、話し合いを進めてもなかなか先に進めない状況です。やりたいんだけど、どうやったらできるのだろうかということで悩んでいます。年長さんは水遊びをして自信を得て、お泊りをして自信を得て、竹馬に乗って、お泊りして運動会を乗り越えて、山に自分の力で登るところまでやってきました。けれど、すべてが全部、日数的にもやることはなかなか厳しい状況です。何を子どもに一番に大事にし

た方がいいのだろうというところで悩ましいです。どの行事も大事、それとこどもが自らこれをしたいという事も大事、大人側からこの行事をするんだよと、大人側からおろしたものではなく、こども自身がやっぱり楽しいな、これやりたいんだよ、というものを大事にしていきたいと思うと、本当に苦しんでいます。今半日保育ですけど、午後はほぼ毎日会議です。今日もどうだったんだろう、何が足りない、どこが大変だとか、こどものけがも防ぎながら、感染症も防ぎながら、熱中症のリスクも下げながらということでやっているんですね。正直、今日が明るいんで、職員も帰る時間を忘れて仕事をしてしまうぐらいなんですけど、次の日に疲れを残さないように気を付けながら取り組んでいるところです。想いはできるものならやりたい。もちつきだってやりたい。でも大丈夫かな。あれこそ密だよな、って、外でやるけど、天気が悪かったら中でやるし、幼児を2m離してやるというのは無理なんですよ。そんな中でも年長は担任の話を聞いて、マスキングテープで目印をつけた場所に1m離れた状態でマスクをつけて、お手紙をもらってお帰りをするとか、7月からはその1mを開けて食事をとるとかをします。それも実際始まってみないと、私たちの思い描いていたものとこどもの実態がどうなのかはわからない。こどもの実態をみてまた変更しないといけないかと考えています。本当は職員みんなはやりたいんです。

今年はプールがないことは残念なことなんですけど、文科省からも2m開けてプールに入る指導が来ています。スイミングスクールのような大きなプールで20何人が入るといえるのならできるかもしれないのですが、だいたい（うちの規模だと）3人くらい入るとおしまいなんです。プールの中は塩素が入っていて感染リスクは低いのですが、ずーっと潜っているわけにはいかない。年長さんは泳げるようになるとはじからはじまで泳ぎますが、ずーっと泳いでいるわけではなく、ばしゃばしゃ水かけっこしたりだとか、あっぷっぷとにらめっこしたりだとか、くっついて遊んだりとかしているの、プールはクラスでやっても密という状態は避けられないのかなと、なくなりました。本当はやりたかった。プールづくりの係依頼もぎりぎりまで悩んで、園医にも相談したり、他の保育施設にも問い合わせたりして、やっぱり私たちは命を守る事を選んだ方がいいんじゃないかということでやめたんですね。

・私の想いとしては、感染のリスクよりも、こどもの育ちが停滞してしまう事の方が不安。年長の事を考えると、今一番伸びる時期なので、なるべくみんなと過ごす時間を削らずにやってもらえたら。休園中に家でも園の生活をと畑を作ってみたり、稲を育てたり、雑巾がけとか手押し車とかもやってみたんですけど、やっぱり親と家でやるのは違うなと。親と離れて、仲間とやることに意味があるんだとすごく感じて、なので、もちろん、先生の現場の判断にお任せするんですけど、想いとしては、なるべく、年長だけでも、いろんなことをやってもらえたらなあ、みんなと過ごす時間を長くとってもらえたらなあと思っています。

→お母さんも、こどもが伸びるということを良く分かっていたいて有難いと思います。その思いのもと、私たちも保育にあたっているんですけど、やる内容については、取捨選択というのかな。やっぱり、雑巾縫いを気にされていたお母さんもいたんですけど、今やるべき事なのか、1日保育が始まったらそういう雑巾縫いをすることをした方がいいのか話し合ってきました。だけど、こどもはどうなんだろうね。幼稚園に来て何がしたいんだろうね。いっぱい遊びたいという思いで幼稚園に来ただけだけど、本当はもっともっと遊びたかったんだけど、半日で帰ることになってしまった。もっと遊びたかったという思いが、もっと遊びたかったという表現につながったのかなと思うんです。こどもが幼稚園で

過ごして「楽しかったな」という事を、今は一番大事にしたいと思っている。やりたい事をしてもらいたい。

・今は半日保育で飼育をやっているのですか？

→今はしていません。本当は飼育の事を気にかけたいところなんですけど、登園して2時間滞在できるかどうかというところで、そこは大人がやって、園に来ておもしろい、あー楽しかったという思いで帰ってもらいたいので、今は保育者がやっています。まずは、こどもがやりたい事を保障したい。その後で飼育活動をしてもらえばいいのかなと考えています。

・進級式や登園日の時には、本当に幼稚園でいっぱい遊んでいた。休み中は私と二人だけなので、しっぽとりしようといわれても、私の方がばててしまった。今日のおひるごはんは？と言っていて、もう少し長くいたいのかなと。夏休み中の夏季保育は3日間しかないのですか？

→年長だけの事を思えば、できなくはないんでしょうけど、小さい学年の子の事を考えるとちょっと無理はできないかなと思います。8月の後半の夏季保育は9月の保育にむけてのならしということで、あまり無理をせずいきたいなと考え後半の3日間にしました。

7月の終了日を遅くして、そこに夏季保育を入れた形にはしました。

・休園期間中は、ずっと私と二人だけだったのでかわいそうだったかなと思う。友だちが恋しかったみたいで。今後はどうなるのか。感染者が増えてくればまた休みになってしまう。それまでにできるだけ遊ばせられたらと思う。

・リモートで映し出されているこどもたちの様子が楽しそうで良かったです。親とずーっといて、友だちと遊びたい遊びたいと言っていて外もあんまり走り回らなかったのも、こうやって外で大声を出して騒いだり、みんなと出来て、行かせてよかったなあとと思います。できれば、家で出来ることは家で出来るので、友だちや先生としかできない事をいっぱいしてもらえればありがたい。

・家で田植えとか野菜とかやってみたんですけど、やっぱり幼稚園は大きいなあとという風に思いました。例えば、今後、感染状況がどんどん減っていった時には、行事などはやるのですか。楽しみにしていた行事がどんどんなくなってしまって、去年の年長さんをみているだけに、宝探しとかそういうのをずーっとっていて、いまだにイチゴ狩りも行く気でいて、できないことばかりになってしまって、それをうまく自分が埋めてあげられなくて、楽しい予定を一つでも伝えてあげたい。何かこどもにこんな楽しいことがあるねっていうのを一つでも伝えてあげたい。(園が)先の事がわからないので、決められないし、下手になんとかやりますっていいないとは思いますが、何か一つでも伝えてあげたいと思うんですが、そういう話題はありますか？

→今、検討している事があります。7月のお泊り保育は7月にやるのは厳しいかなというところできないなあと。秋のお泊り保育はまだ宿泊先は予約はしていますが、どこでやるかはまだ未定です。もしかしたら園内でできるかどうか。また第2波が来てしまうとわからないんですけど、7月のお泊り保育は厳しいということで、何か子どもたちにできないかなということで、「夕暮れ保育」ということを考

えています。これは夕暮れの時間に幼稚園に来て、ちょっと暗くなるまでの時間を幼稚園で楽しむというのを考えています。8月1日（土）に、年長さんだけを対象とした夕暮れ保育を考えています。今日の学年のお便りにも載っています。

・休園している間は、動きたくて幼稚園に行きたがっていたのですが、幼稚園に行けるようになって、すごい1日1日楽しくて、築山登りとか、家ではできないこととか幼稚園にはできることがたくさんあるのでその中で、日々成長していることを感じました。

飼育の事とか畑の事とかをすごく気にしていて、できるかぎりでもいいので一つでも多く楽しいことができるといいなあ。休園中は友だちと会える事をととても楽しみにしていたので、その辺では、いっぱい友だちの名前を言っていて、幼稚園ってすごく楽しいところなんだなというのがみえて、限られた期間だけど、年長の中でたくさんの思い出を作って楽しかったなという園生活を送ってもらえたらなと思います。

・久しぶりの幼稚園で緊張していたんですけど、幼稚園に行って、さっきの（ZOOMでの）姿をみたらとても安心しました。

・家での快適さに慣れすぎて、休み明けで泣いたりしていたんですけど、はじまってどうかなと思っていたんですけど、なんとか泣かずにがんばって行っているようで。卒園までの時間を楽しみしてもらいたいです。

・竹馬づくりが早まったのはなぜですか？

→9月にいつも作っていたんですけど、プールが無いでしょう。こどもたちに、一つ何か目標を持たせるのにもいいのかなあと思って、早くに作って、乗る時間が長くなれば、また自分なりの楽しみ方もできるのかなあと思って早めたんです。7月に作って保育中に乗れた方がいいかなあと思って、約2ヶ月ですけど早めました。もしかすると乗っている時間が長くて運動会がやれたとして、運動会の時に竹馬のやり方も、実は今まで乗るだけで精いっぱいの子がいっぱいいたんですよ。やっと乗れて10歩歩けて落ちこちてまったという、それで運動会という子もいたんです。それがもっと乗りこなせる姿になっているかもしれないねということで早めました。子どもにも希望をもってもらいたいし、出来たら自信にもつながるし、早めてやってみて、おうちで関わることもできるし、いいかなあと思って早めました。

・幼稚園行きたくないと言っていた日が多かった子が、休園中は幼稚園にいついけるのかと言っていたので、できるだけ楽しいことができればいいなと思います。

・これから保育が短くなることで子どもたちにどんな影響があるのか不安なところがありますが、先生たちがいろいろと考えてくれていることが分かったのととても心強いし、とても感謝しております。こどもがプールをととても楽しみにしていたのでそれがなくなってしまったのはとてもさみしいです。夕暮れ保育の事を聞けて、それが楽しみだなと思いました。

・これから先、万が一感染した子とか親が出た場合は、どういう対応になるのか、どんな影響がでるのか、幼稚園で出てしまった場合にはどんな感じになってしまうのか心構えとして知っておきたいんですけど。もし第2波が出た時とか緊急事態宣言が出た時とか、どこまで休園になるのかとか、さすがに今回みたいに3か月行けないというのは、親も子もつらかったかなとすごく思うので、なるべくそういう事態を避けてほしいとすごく思うんですけど。

→私たちもなるべく保育を続けたいと思っていて、感染症対策として、保育が始まる前と終わってから、保育中は、子どもの手洗い、消毒とかを心がけてやっています。それでも出てしまったらというところでは、私たち保育者だって、もしかしたら、症状がなくても感染していたという場合もあるので、誰でも心配があるのかなと思っています。もし、感染者がでてしまったりした場合は、保健所の指示に従って休園になると思います。日数については保健所の指示によりますので、あまり濃厚接触者がいなければ、このくらいでとか、このクラスだけでとか、保育者だけであれば保育者だけの中で園児とあまり関わっていなければまた、かわってきます。ただ、お休みになる可能性はあります。そうならないように気を付けてやっています。

3か月の休園は園としても重くとらえていて、五月の初旬にさらに延期になった時に、私たちも愕然としまして、早く休園を解除したいんだけど解除できないという苦しさがあった、5月の14日の週に開園に向けてどうしたらいいかという議論をずっと重ねてきたんですね。6月1日に保育が再開できるためにはどういう対策をとったらいいのかという、その時に考えていたことが、今やっている事です。もし、次、第二波が来て、感染者が出たらどうしても私たちの心の中にはマイナスの事しかイメージできないんですけど、今をどうするかという事に最大の力を発揮したいなと思います。「今をいきる」という歌に託した思いは、先の事はわからない状況だけど、今精一杯どうしようかというところに重きをおきたいなと。もし万が一起きたら起きたで、次、どうやったら早く開園できるかということを全力で考えます。早く園生活を取り戻したい。だからそのために、どうするかというふうに動きます。休園をできるだけ短くしたい。特に年長さんは時間が限られているからみんなですでどうしたらいいかを考えたいと思います。

アンケート用紙に寄せられた保護者からのご意見・ご質問です。(6名)

- ・休みの間もこまやかに連絡とってくださっていたおかげですと幼稚園とつながっていられて安心して居られた。
- ・園が様々な行事に対して慎重に考え、中止したり代替を提案してくれることに賛同
- ・行事が思い通りにいかなかった、この時期に皆で踏ん張った事や、工夫したこと、園がずっと子ども達のことを思って動いてくれたことなどどれも子どもたちの成長の養分になると思う。
- ・こどものマスクは基本的に着用しない、ホールに集まる、お帰りの時だけ着用する、など着用を限定した方がこどもにとって現実的だと思う。暑いと自分で下げてしまったり、汚い手で触れたり、熱中症も心配。
- ・しばらくは、お手拭タオルをやめ、すべてペーパータオルにするのもありなのかなと思っている。胃腸炎が流行した時に、トイレのペーパータオルの効果を感じたため。
- ・消毒等負担も大変だと思いますが、親もできることはしていきたいので何かあれば教えてほしい。
- ・小学校、中学校のように夏休み、冬休みを短縮する、土曜日に登園することなど、現時点で園はどのように考えているのか。運動会や年長の3回のお泊り保育など、そのほかの園行事についても教えてほしい。
- ・日本小児学会が5月20日に新型コロナウイルス感染症に関する医学的知見を発表していて、その中で「学校が保育施設の閉鎖は流行阻止効果が乏しい」「教育、保育、療育、医療福祉施設等の閉鎖がこども

の心身を脅かしており、小児に関しては COVID-19 関連健康被害の方が問題と思われる」とあります。

・やっと登園がはじまりほっとしています。長い休園に親も子もうんざりでした。もし次そうになったらと思うと今から不安です。次回の休園の対応について、現時点でどうするのか教えてほしい。3月のように、就労が条件でなく、自主登園にしてほしい。

・イベントや行事が絞られる事は理解できるが、日常の保育を保障してほしい。

・この1年、どう過ごせるのか、コロナだから仕方ない、ではなく、柔軟に対応してほしい。慎重すぎて、ひまわりの良さ（広い園庭、自然豊かな環境、ひまわりの生活、想いや願い）が全く生かせていないと思う。これからの対応に期待したい。できる限り保育してほしい。

・毎日の体温計測に関して、37度以上というところを、37.5度、もしくは平熱+0.5度以上とすることを検討して頂けないか。平熱が高めなので、37度をすぐに超えてしまう。

・3か月の休園期間を取り戻すため、学校と同じく夏休みや冬休みを短くすることを検討して頂けないか。普段の保育でも、コロナ対策等のため人手が足りない時には、子ども達のために保護者も協力させてもらいたい

・今後も「感染リスクを最小限にする」ということを何より第一に考えるのならば、1番良いのは「集団生活である園では何もやらない」という事だと思う。保育時間もできる限り短くし、こどもや先生との接触をなくせば、その目的を果たせる。ただし、この3か月間で、身近になることはなかった。知り合いが感染したという情報も一度も聞かず、感染が少し収まった今も、大人に関しては感染予防のため、可能な限り、集まり等いろんなことを自粛し、我慢すべきだと思う一方で、子ども達に対しては同じことはいえないのではないかと思う。大人にとっての数か月間と、子ども達にとっての数か月間は全く違う。幼児期の子ども達にとっては、一生でこの1年でしかできない大切なことがたくさんある。

・「今年の年長さんは残念だったけど、来年の年長さんはできるといいね」という話になったとしても、今年の年長にとっては、一生に一度の貴重な機会を失っていくことになる。卒園まであと9か月しかなく、やれなかったことを後倒しで取り戻す時間もあまりない。

・私たち保護者は「命のため」と言われたら何も言えなくなってしまうが、リスクを避けすぎることによって貴重な成長の機会を失う事のバランスを取りつつ、出来る限りの保育をやって頂ける事を望んでいる。休園期間中の3か月間で、ひまわりで与えていただいている恵まれた環境は、自宅ではかなえるのが困難だと改めて強く実感した。

・今の状況では、後で振り返った時に、「ああ、命を守れて良かった」というより、「あの時なら、もう少しいろんなことが出来たのでは？」という想いが保護者の中にもずっと残ってしまうかもしれない。

・貴重な子ども達の成長機会と地域の感染状況、リスクのバランスをみながら、できる限りの保育を続けて頂けたらと望んでいる。

・なるべく行事はやっていただきたい。しかもチャンスは冬になる前までじゃないかと思う。冬になったらウィルスがまた流行ってしまうかもしれないから。

・夏休みのお泊り、秋のお泊りを是非経験させたい。

・運動会も、距離を保って、少人数性でも良いの実施してほしいし、卒園式も外でもいいのでやってほしい。リズムもみたいし、プールがないのはショックでした。

・マスクを真面目にしているようで、熱中症が心配。

・ひまわりの保育が好きで、信頼しているからこそ、是非子ども達には経験させてあげたい！と思って

しまう。大切なこの時期に、ひまわりでしか経験できないことを一つでも多く経験して欲しいと思う。